

表5 7

家族に対する心理的ギャップの変化と現状

透析1年目 頃との比較	家族との心理的ギャップを感じること ¹⁾				合計		
	よくある	時々ある	たまにある	ない			
家ギ 族ヤ とツ のプ 心の 理変 的化 強まった	①	7(6.7)	19(18.3)	②	10(9.6)	16(15.4)	52[50.0]
	③	7(6.7)	13(12.5)	④	4(3.8)	20(19.2)	
	⑤	6(5.8)	2(1.9)				
合 計	14[13.5]	38[36.5]	16[15.4]	36[34.6]	104[100.0]		
家族がいる 者の全体 ²⁾	16[14.3]	44[39.3]	16[14.3]	36[32.1]	112[100.0]		

¹⁾ 質問文は、「透析をしている本当の自分の気持ちやつらさは、家族といえどもわからないと思うことがよくありますか。」である。

²⁾ 導入前は単身で、調査時には同居家族がいた者。

注1) 導入前または調査時に単身であった者、透析歴1年未満の者は除いた。

注2) () 内は、104人に対する割合である。

注3) Kruskal-Wallis test $\chi^2=2.14, df=2, N.S.$

注4) 家族に対する心理的ギャップの類型として、①弱化・距離大(26, 25.0%)、②弱化・距離小(26, 25.0%)、③不変・距離大(20, 19.2%)、④不変・距離小(24, 23.1%)、⑤増大(8, 7.7%)の5つがみだせた。